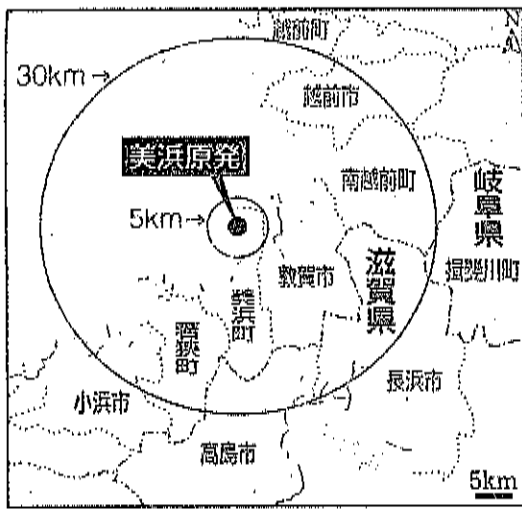


美浜原発

国の防災訓練始まる

3県住民ら9200人参加へ

関西電力美浜原発（美浜町）の事故を想定した国の原子力総合防災訓練が四日、三日間の日程で始まった。約百五十の関係機関や



福井、滋賀、岐阜の三県の住民ら約九千二百人が参加する。六日は原発周辺の住民が福井県から兵庫、奈良、石川の三県に移動して

避難の流れを確かめる訓練もある。訓練の面

う事故が発生したと想定。初日は関係機関が災害対策本部を設置し、地震による被害や原発事故の状況などの情報を共有し、対応方針を確認した。県庁では午後二時の地震発生を受けて、

災害対策本部を設置。杉本達治知事は「住民避難に万全を期してほしい」などと指示を出した。夕方には美浜町の現地対策拠点「美浜オフサイトセンター」に福井、滋賀、岐阜県の職員らが集まり、状況報告をした。国の原子力総合防災訓練が県内で開催されるのは四

年ぶり。五日は岸田文雄首相による緊急事態宣言を受けて、原発から三十キロ圏内の住民が避難所への避難や屋内退避をする。道路の寸

断を想定し、甲状腺の被ばくを抑える安定ヨウ素剤に見立てたあめをドローンで運ぶ訓練にも取り組む。美浜3号機は昨年六月に

再稼働し、新規制基準下で国内唯一、運転開始から四十年を超えた原発として稼働している。（佐久間博康、玉田能成）